

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

# 思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

## 工事における安全対策を紹介します！

### ○ 工所用車両の識別対策

思川開発事業の工事関係の大型車両には、施工業者および運転手が識別できるよう車両前面にエプロンを着けています。この度、このエプロンを更に見やすく改良します。

改良前



改良後



### ○ 機構職員による道路見回り

6月から9月までの間、光が丘団地北側に仮置きしていた造成残土の搬出をおこなっています。この工事の実施にあたって、県道上久我都賀栃木線の光が丘団地から南摩ダム予定地までの区間が土砂運搬のためにダンプトラックの通行量が増加することから、機構職員による定期的な道路見回りを実施し、安全運転・交通マナーの遵守について徹底した指導をおこなっています。

### ○ 現場パトロール

すべての工事現場に対して、毎月1回機構職員による安全パトロールを実施し、現場の安全対策の指導をおこなっています。

工事の実施にあたっては、現場内の安全を図るのはもちろんのこと、土砂運搬や工所用資材・機材の運搬においても、地域住民の方々や一般車両の安全確保を第一に考え、工事を実施してまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。【工務課】



## 梶又小学校の解体工事について

南摩ダムの建設により水没する梶又小学校は、平成16年3月、その百年を超える歴史に幕を閉じました。機構では、閉校となった梶小の校舎やグラウンドを利用して、広報活動や環境保全活動に努めてきましたが、校舎の老朽化や防犯上から、この8月から校舎の解体に着手することとしました。

解体を前に、鹿沼市教育委員会にお願いし、市内の小学校の先生方に梶小で使われていた備品や器具、図書などを見ていただき、それぞれの小学校に持ち帰り、有効に活用して頂きました。

また、梶小での勤務経験がある先生もいっしょに、懐かしそうに校舎や特別教室を歩かれ、当時の記憶を呼び覚ましておられました。【総務課】



## 濁水抑制対策の取り組み

南摩ダム事業用地内では、主に付替県道関連及び県道上久我都賀栃木線の道路改良の工事を実施しています。また、立木伐採のための進入路等により山肌が削られている箇所もあるため、このような工事箇所には、植生マットや沈砂池を設置し、土砂流出による濁水の発生を抑制しています。



ダムサイト付近の植生マット、シート設置状況



6月27日、思川では、季節の風物詩であるアユ釣りが解禁となり、大勢の太公望の方々が賑わいを見せていました。なかには50匹ものアユを釣り上げた方もいたようです。今年もたくさんのアユが釣れることを願い、南摩川や思川への影響をできるだけ軽減するよう取り組んでいきます。【工事課】



## 3トンネルが無事に貫通！



思川開発事業で工事を行っております仮排水路トンネル、放流管敷設トンネル及び付替県道4号トンネルが無事に貫通しました。

1本目の仮排水路トンネルは、南摩ダム本体工事に先立ち南摩川の水を一時的に切り替えるための水路トンネルで延長約807m、内空幅約4mです。

2本目の放流管敷設トンネルは、将来、ダムに貯めた水をダム下流に放流するための管を敷設するトンネルで延長約606m、内空幅約8mです。ともに

平成21年3月から着手し、約1年2ヶ月をかけ、仮排水路トンネルが平成22年5月13日、放流管敷設トンネルが5月31日に無事貫通しました。

3本目の付替県道4号トンネルは、一般県道上久我都賀栃木線の付替道路工事の一部で延長約576m、内空幅約8mです。本トンネルは平成21年4月から着手し、約1年2ヶ月をかけ、6月14日に無事貫通しました。



仮排水路トンネル及び放流管敷設トンネル



4号トンネル

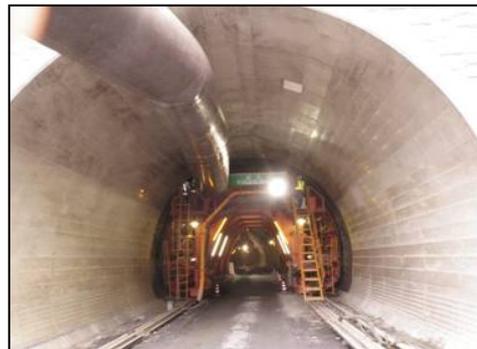
これらのトンネル工事では、現在、トンネル内の覆工（内側をコンクリートで巻き立てること）等を行っており、いずれも今年度中には完成する予定です。

また、付替県道最上流部においても付替県道1号トンネル工事（延長942m、内空幅約8m）の掘削の準備を行っており、8月には本格的なトンネル掘削にかかる予定です。

これまで、施工時の騒音・振動・濁水等に対する環境保全対策等を行うとともに、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら工事を進めさせていただきましたが、引き続き、よろしくお願いいたします。【工事課】



4号トンネル覆工



4号トンネル貫通



## 環境保全の取り組み

思川開発事業では、生態系保全のために様々な対策や配慮を行っています。今回はオオタカの保全についてご報告します。

### ○オオタカとは？

オオタカはカラスくらいの大きさのタカで、平野部から山地帯の森林や農耕地に生息し、アカマツやスギなどの高木に巣を架け、4月ごろ産卵を行い、6～7月ごろ幼鳥がすだちます。

### ○保全対策とは？

事業用地周辺では、数組のオオタカのつがいが確認されています。オオタカは準絶滅危惧種にも指定されており、事業による影響を受ける可能性があると考えられる種の1つに位置づけており、平成21年度には以下の保全対策を行いました。

- ☆繁殖期は営巣中心域での工事を実施しない
- ☆低騒音・低振動の工事機械を使用、車両速度制限、夜間～早朝工事の制限
- ☆間伐による営巣・採食環境の改善
- ☆代替巣の設置 等

### ○オオタカの雛を確認！

今年度に入って、5月にオオタカの抱卵行動が確認され、6月中旬には巣内に雛が確認されました。皆様にこの便りをお届けする頃には、この雛も無事に巣立っていることでしょう！

これからも、オオタカを含めた生態系保全のための様々な対策や配慮を行っていきます。【環境課】



写真-1 オオタカの雌成鳥  
(H22.6.15 撮影)



写真-2 オオタカの巣  
(矢印に雛 H22.6.15 撮影)

## 編集 後記

梅雨のうっとうしい天気が続きます。しかしうっとうしい梅雨も日本の四季の大事な1ページです。そして梅雨が明けると夏本番。1年で1番水が恋しくなる季節です。8月1日は「水の日」、8月1～7日は「水の週間」です。1年で一番「水」が恋しくなるこの時季に「水」のことを少し想ってみませんか。

### 人事異動

- ◆転出者(5月1日付)  
調査設計課 古茶 由規
- ◆転出者(6月30日付)  
調査役 益山 高幸

編集・発行所



独立行政法人 水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野839-2  
Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211  
ホームページ

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>